

## 志賀原発の廃炉要求

### 富山3・9集会実行委 北陸電と交渉



北陸電力（手前）に志賀原発の廃炉などを申し入れ、交渉する参加者＝13日、富山市

「志賀原発再稼働を許すな・原発ゼロ 福島を忘れない! 3・9 富山集会実行委員会」は13日、富山市の北陸電力本社を訪れ、志賀原発（石川県志賀町）の廃炉と再生可能エネルギーへの転換などを申し入れ、交渉しました。実行委員会は原発をなくす県連絡会準備会や県平和運動センター、個人で構成。申し入れには8人が参加しました。北陸電力は、田村義雄地域広報部長、ネルギー広報チーム統括課長らが応対しました。申し入れ書では、①志賀原発の廃炉と原発事業からの撤退、再生可能エネルギーへの転換②シビアアクシデント（過酷事故）対策と、過酷事故が起こった際の周辺住民への被曝（ひばく）対策を明らかにする③福浦断層の活動で想定される地震の規模と地震動を明らかにする④原子力規制委員会の新基準に適合させるための工事費総額と志賀原発廃炉への経営上の問題を明らかにするへの回答を求めています。

田村課長は「志賀原発は経済性にすぐれ、CO<sub>2</sub>も排出しない」とから重要なベース電源と考えている」「原子力規制委員会の新基準に基づきシビアアクシデントに対する安全強化策を実施している」「などと答えました。

参加者からは、「過酷事故が起きないようにするには、起こればどうの意見や質問が出せるといふ前提で安全対策をとりこむべき」「消費者の電気料金で経営しているのだから、北陸電力は消費者に迷惑をかけてはいけないというスタンスで再稼働をやめるべき」「秘密保護法が施行されると原発情報は隠されるのではないか」などの意見や質問が出されました。

## 原発避難計画策定43%

### 要援護者は対象外

市町村（43%、1月末時点）の避難経路・手段を定める避難計画を策定した周辺自治体は対象135のうち58

市町村（43%、1月末時点）にとどまっておろ、高齢者や身体障害者など自力での避難が困難な要援護者が策定の対象外になっている

●3・9集会結果集  
お願ひします  
(集会とデモ)  
3月9日(日)  
デモ2時  
ポルアートとま2F  
講談 神田香織

